

√ 1) 骨について正しいのはどれか 15

1. 骨芽細胞は骨の吸収を行う。
2. カルシトニン^①は骨破壊を促す。
3. 長管骨の成長は骨膜で行われる。
- ④ 血清カルシウム値の調節に関わる。

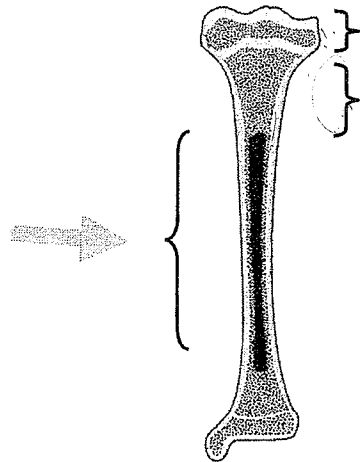
2) 脊柱で椎骨が7個なのはどれか。

- ① 頸 椎
2. 胸 椎
3. 腰 椎
4. 尾 骨

7
12
5
5
2

3) 長管骨で矢印の示す部位は何か

1. 骨端
2. 骨幹端
- ③ 骨幹
- ④ 成長軟骨

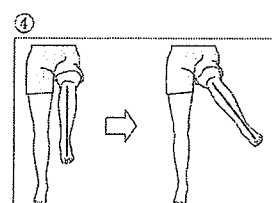
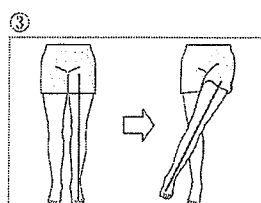
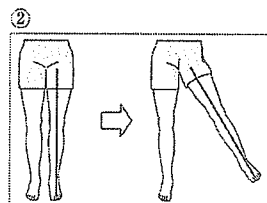
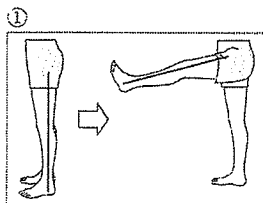


4) 球関節はどれか

1. 腕尺関節
2. 上橈尺関節
3. 指節間関節
4. 顎関節
- ⑤ 股関節

5) 股関節の動きについて内旋はどれか

1. ① 2. ② 3. ③ ④ ④



6) 徒手筋力テストで 2 に当たるのはどれか

1. 重力と十分な抵抗に抗して全可動域動く
2. 重力と中等度の抵抗に抗して全可動域動く
3. 重力に抗して全可動域動く
- ④ 重力を除くと全可動域動く

√ 7) 骨粗鬆症で多く見られる骨折はどれか

1. 大腿骨骨幹部骨折
- ② 腰椎圧迫骨折
3. 鎖骨骨折
4. 上腕骨顆上骨折

8) 開放骨折について正しいものはどれか

1. 骨折部は外界と交通しない
2. 感染を起こしにくいので処置は愛護的に最少とする
3. 複雑骨折と同じ骨折で、バラバラに粉砕した骨折のことである
- ④ 骨折部はなるべく早期に大量の生食水で洗浄し、可及的に閉鎖する

9) 人工膝関節置換術を受けた患者で麻痺をきたす可能性の高いのはどれか

1. 脛骨神経
2. 大腿神経
- ③ 腓骨神経
4. 坐骨神経

10) 関節リウマチで正しいのはどれか

1. 必ずリウマチ因子が陽性となる
- ② 関節のこわばりや対称性の関節炎が特徴である
3. 二番目に頻度の高い膠原病である
4. 手指の DIP 関節から障害されることが多い

11) 腰椎椎間板ヘルニアについて正しいのはどれか

1. 高齢の女性に多発する。
- ② 診断には MRI が有用である。
3. 好発部位は第 1・2 腰椎間である。
4. 間欠性跛行が特徴である

1 2) 上腕骨顆上骨折について正しいのはどれか

1. 手術療法が必要な小児骨折である
2. 晩期合併症で注意が必要なのは外反変形に伴う尺骨神経麻痺である
- ③. フォルクマン拘縮に注意が必要である
4. 徒手整復は愛護的に行い、整復位が得られるまで繰り返し行う

1 3) 骨腫瘍について正しいのはどれか

- ① 骨原発の悪性骨腫瘍で最も多いのは骨肉腫である
2. 内軟骨腫は大腿骨に発症することが多い
3. 骨巨細胞腫は骨幹に発症し、再発はほとんど見られない
4. 骨肉腫は 30-40 代の女性に多い